

(お知らせ) 藤波璋光の取締役会長退任と隠居就任について

令和3年8月31日をもって、藤波璋光はFSX株式会社の取締役会長を退任し、隠居に就任いたしましたので、お知らせいたします。

1967年にFSXの前身となる藤波タオルサービスを国立の地に創業以来、「おしぼりは物のサービスではなく、心のサービス」を理念に、54年の長きにわたりFSX及びおしぼり産業の発展に尽力してまいりました。社長職時代には、おしぼり組合の立ち上げや、ベトナムよりタオルの直輸入を開始するなど、今に繋がるおしぼりの品質向上に注力しました。また2013年に取締役会長となってからは、企業価値を高め事業領域を拡大する取り組みを、後方より監督、指導、支援してまいりました。その間、当社の代表技術である抗ウイルス・抗菌の『VB（ブイビー）』が誕生し、おしぼりに新しい価値を吹き込んでいます。こうした結果、創業以来、売上を落とすことなく、1本のおしぼりを礎にした当社の土台を築き上げています。

(藤波璋光コメント)

よくぞここまで来たもんだ！

振り返ると激動の54年、よりよいおしぼりをお客様に届けるために無我夢中で走り続けた社長時代、“怪鳥”となって俯瞰し、見守り続けた会長時代を通して、多くの素晴らしい人との出会いに恵まれて、職責を全うすることができました。藤波タオルサービス以来、長きにわたり、皆さまからいただいた惜しみないご厚情とご支援に、心から感謝いたします。

高度経済成長のパワーのある、混沌とした時代に会社経営をスタートし、夫婦二人三脚で現在のFSXの成長の土台を築きました。今年当社は「おしぼりの再発明」を掲げ、おしぼりの使い方を再建する、一つの大きな節目を迎えています。ますます世の中の変化が激しくなる今後は、いかに私たちがらしいサービスを築いていくかが、当社の成長課題になっていくと思います。新しい取り組みはまだ道半ばであり、引き続きの挑戦が必要であるものの、着実に良い方向に向かっていると実感しています。また2019年には私とともに歩み続けてきた2人の取締役が専務となり、当社の新たな経営改革に取り組んでいます。今の取締役会であれば、社長以下の経営執行陣が一丸となって、非連続の経営改革に取り組んでいけると確信し、80歳を迎えたこの機に、私は退任することに致しました。

国立という地の利に恵まれ、宝物の社員に恵まれ、心のサービスであるおしぼり業種に恵まれ、悔いのないおしぼり人生を歩むことができました。これからはATM（明るく・楽しく・前向きに）をモットーに、おしぼりの愛好者として、会社の成長を楽しみにしています。隠居となりましても、引き続き変わらぬご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。